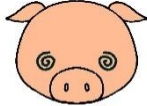




図書館だより

図書館ホームページアドレス <http://lib.city.iruma.saitama.jp/>

かわいそうな本たち



入間市立図書館には、約55万点の資料がありますが、中には、破れたり、濡れてヨレヨレになったりして返ってくる『かわいそうな本』たちがあります。

図書館の本は、みんなの財産です。『かわいそうな本』にならないように、ていねいに扱きましょう！

水濡れ：本にとって、水は大敵です。紙がしわになったり、カビが発生したりします。ペットボトル等の結露にも要注意です。



切り取り：雑誌や新聞も図書館の資料です。切り取るようなことは絶対にしないでください。



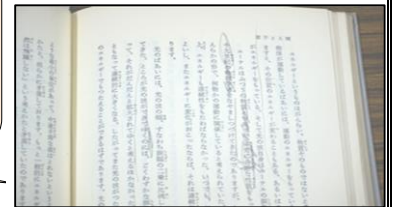
ふせん紙：粘着力の強いものは、ベタベタが本に残ったり、破れたりします。



高温：実は本は高温や直射日光が苦手です。歪みの原因や、糊の劣化につながります。暑い自動車内や、窓際に置いたままにしないでください。



書き込み：すでに読んだものと区別するためか、隅っこに小さくしるしをつける書き込みも、多数見つかっています。どんな些細なものであっても、図書館の本への書き込みは絶対にやめてください。



折れ：しおり代わりに端っこを折り返す。借りている間だけの目印のつもりでも、一度折れた跡は、もう二度と元には戻りません。そして折り目のついた紙は、とても破れやすいのです。

ニオイ：強いニオイが染みついて返ってくる本もあります。様々な方法で除去を試みますが、どうしても取り切れないものもあります。

食べ物汚れ：ソースは染みになり、食べかすが挟まれば汚れます。

食べかすに虫が寄ってきて、紙などに書を与えることもあります(；_；)



セロハンテープ：セロハンテープは劣化が早く、最後には茶色いシミを残してはがれてしまいます。破れてしまったときは、図書館の修理専用テープで直しますので、そのままお返しくください。一言、「破れてしまった」と教えていただくと、とても助かります。



この他にも、『かわいそうな本』はたくさんあります。

より多くの方に、より長い期間、より気持ちよくご利用いただくために、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

新成人に贈る読書案内

祝

新成人の皆さんに、新しい門出の道しるべとなるべく、リーフレット「新成人に贈る読書案内」を作成しました。このリーフレットは、1月14日(月・祝)の成人式会場や各図書館で配布します。あわせて、リーフレットで紹介した本を1月5日(土)～2月27日(水)まで展示します。(貸出し、予約もできます。)
心のビタミン剤となるような本を紹介していますので、ぜひご覧ください。

蔵書点検に伴う休館のお知らせ

図書館の全資料を点検するため、本館、分館、配本所、移動図書館を次の期間休館いたします。
なお、図書館のホームページはご利用いただけます。

休館日：3月4日(月)～3月8日(金) ※3月4日(月)は通常の休館日です。

本館「児童文学講演会

～絵本を通して心の平和を～

絵本作家の葉祥明氏をお招きして、絵本を通じた心の平和について、出身地である熊本の支援復興のお話を交えながら、語っていただきます。

とき：3月10日(日) 14:00～15:30

ところ：西武分館 視聴覚室

対象：一般

講師：葉祥明氏ようしょうめい(絵本作家・画家・詩人)

定員：先着100名

参加費：無料

申込：2月7日(木)から本館(電話可)



西武分館「むかしあそび体験会」

とき：1月26日(土) 14:00～16:00

対象：幼児～小学生まで(保護者同伴可)

内容：かるたやすごろくなどで遊びます。

定員：先着12名

参加費：無料

申込：1月8日(火)から西武分館(電話可)

西武分館「春の子どもえいが会」

とき：3月21日(木・祝) 10:30～11:00

対象：幼児から中学生まで(保護者同伴可)

内容：アニメ「楽しいムーミン一家 ～ムーミン谷の春～」

定員：先着120名

参加費：無料

西武分館「イラスト工作会」

とき：3月24日(日) 10:00～12:00

対象：幼児～小学生(保護者同伴可)

内容：好きなイラストを描いた、オリジナルトートバッグを作ります。

定員：先着12名

参加費：無料

申込：3月9日(土)から西武分館(電話可)

西武分館「ウィークエンド・シネマ」

とき・内容

1月5日(土)・もういちど(2014年、95分)

1月19日(土)・ショウ・ポート(1951年、108分)

2月2日(土)・椿姫(1937年、108分)

2月16日(土)・すべての道はローマへ
(1948年、90分)

3月2日(土)・愛馬トリッガー/ソング・オブ・テキサス
(1946年、78分/1943年、53分)

*2本立て

3月16日(土)・アヒルと鴨のコインロッカー
(2006年、110分)

※時間はいずれも14:00から

対象：一般 定員：先着120名 参加費：無料

駐車場が狭いため、車でのご来館はご遠慮ください。

西武分館「健康ストレッチ講座」

とき：2月24日(日) 10:30～12:00

対象：一般

内容：パーソナルトレーナー・森本浩之氏によるストレッチ講座です。

定員：先着30名

参加費：無料

申込：2月8日(金)から西武分館(電話可)

金子分館「親子で楽しむ絵本とわらべうたの会」

とき：2月24日(日)

10:00～10:30 0歳児から1歳半位のお子様と保護者

11:00～11:30 1歳半位から3歳位のお子様と保護者

ところ：金子公民館 和室A・B

対象：0～3歳ぐらいまでのお子様とその保護者

内容：それぞれの年齢別に、絵本の読み聞かせと本の紹介を交えながら、わらべうたや手遊びを親子で楽しみます。

定員：各回15組

参加費：無料

申込：2月5日(火)から金子分館(電話可)

金子分館「ペーパークラフトでつばめを作ろう！」

とき：3月23日（土）14：00～15：30

ところ：金子公民館 工作室

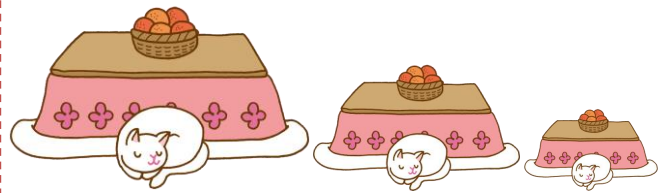
対象：小学生以上

内容：型紙を切り、くるっと曲げて、立体的に組み立てていきます。

定員：15名

参加費：無料

申込：3月9日（土）から金子分館（電話可）



藤沢分館「なげるふくわらい」

とき：1月5日（土）11：30～12：00

対象：幼児から小学生まで

内容：目かくしはしません。ねらって投げて「とんちゃん」と「いるティー」の顔を完成させます！

小さなお子さんも参加できます。

定員：15名程度（申込不要）

参加費：無料

藤沢分館「ぬいぐるみおとまり会」

とき：お預かり 1月19日（土）11：00～11：30

お迎え 1月20日（日）9：00～17：00

内容：ぬいぐるみ持参のおはなし会を実施。終了後ぬいぐるみをお預かりし夜の図書館で写真を撮影。翌日のお迎え時におとまり証明書と写真をお渡しします。参加者の年齢に合わせたおすすめ本も紹介します。

対象：乳幼児から小学生まで

定員：先着15名

参加費：無料

申込：1月6日（日）から藤沢分館（電話可）

藤沢分館「古典朗読会 古典にふれてみよう」

サークル「古典の会」による朗読会です。

声に出して一緒に古典の響きを楽しみませんか？

とき：1月13日（日）14：00～15：00

対象：一般

内容：竹取物語など ※変更する場合があります。

定員：10人程度（申込不要）

参加費：無料

藤沢分館「これからの暮らしを考える

大人のためのお片付け講座～終活編～

とき：2月16日（土）14：00～15：00

ところ：藤沢公民館 洋室C・D

内容：整理収納アドバイザーの牛久葉子氏を講師にお招きし、「これからの暮らし」を考える方にプロの技を伝授します。親の家の片付けの参考にしたいという方にもご参加いただけます。

対象：一般

定員：先着30名

参加費：無料

申込：2月6日（水）から藤沢分館（電話可）

藤沢分館「目指せ！1000ページ」

とき：募集期間 2月1日（金）～2月28日（木）

回収期間 3月1日（金）～3月17日（日）

館内掲示期間 3月19日（火）～

対象：幼児から一般（申込不要）

内容：募集期間中に図書館資料を読んで、その合計ページ数を競います。

結果はランキング形式で藤沢分館内に発表掲示します。参加賞もあります。

参加費：無料

読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループのどんぐり（本館）・かざぐるま（西武分館）・茶の花（金子分館）・トトロ（藤沢分館）です。各グループより、最新情報をお届けします。

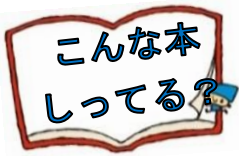


どんぐり 新しいメンバー参加の初のおたのしみ会。全力で行い、子どもたちの輝く瞳に癒されました。やってみて良かったと喜びを感じるひとときでした。

かざぐるま 「冬のおたのしみ会」は、1部ではパネルシアター、エプロンシアター、あてっこクイズなど。2部のミニ工作会では、サンタの小物入れを作りました。中には、「来年も来るからね」と言って帰った子もいました。

茶の花 「冬のおたのしみ会」にはご来場いただきありがとうございました。今年も絵本やおはなしの楽しさをお届けいたします。木曜日や第1・3土曜日のおはなし会も、お楽しみに！

トトロ 2001年4月に藤沢分館開館と同時にトトロも活動を始めました。今年も元気におはなし会、おたのしみ会を楽しんで頑張りしたいと思います。



大人のためのBookガイド



『私は虫である 熊田千佳慕の言葉』熊田千佳慕/著 求龍堂《914.6/クマダ》

1981年、七十歳でポーロニヤ国際絵本原画展に入選し、一躍脚光を浴びた細密画家・熊田千佳慕。自然を見て、記憶し、瞳に焼きつけて線を描く。その驚異的な細密描写ゆえに遅筆で、貧乏生活を送った。でも、貧乏を楽しみ、命を尊び、ゴキブリをも愛おしむ。

自然を愛し、自然を描く事を追求し続けた熊田千佳慕の言葉集。

『世界を変えた50人の女性科学者たち』レイチェル・イグノトフスキー/著 野中モモ/訳 創元社《402.8/イ》

コンピュータは、今やパソコンやスマートフォンをはじめ、テレビ、洗濯機などの電化製品にも組み込まれ、私たちの生活に欠かせないものとなっています。

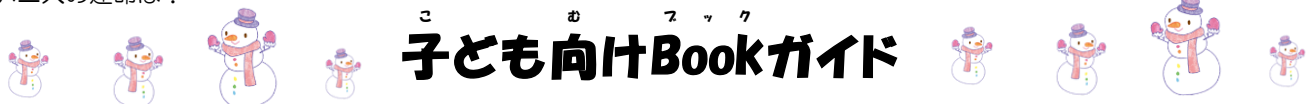
コンピュータ・プログラムの母グレース・ホッパーは世界共通のプログラミング言語であるCOBOL（コボル）を開発した人です。COBOLは世界中の企業や政府機関で使われるようになり、現在もATMで銀行のシステムを使う時などに、私たちはCOBOLの恩恵を受けているのです。

この本では自然科学、工学、数学、医学などのさまざまな分野で、偉大な功績を残した女性科学者たちにスポットをあて、研究成果やプライベートな一面まで、可愛らしいイラストで紹介しています。

『泥濘』黒川博行/著 文藝春秋《913.6/ク》

大阪を舞台にミステリー史上最凶の疫病神コンピが金のにおいに群がる悪党たちを相手に暴れ回る。スリルと衝撃が疾走する物語。疫病神シリーズ第7弾。

警察官OBが作った親睦団体代表者らが、歯科診療報酬の不正、オレオレ詐欺など、ヤクザと手を組みやりたい放題。このお金を手に入れようと、疫病神コンピの二人が調べ始めるが、一方は拉致、一方は心肺停止になってしまいます。警察OBを相手に一步も引かない二人の運命は？



大人は雪が降ると嫌な顔をする人も多いですが、いつの時代も、子どもたちは雪が大好き。雪の出てくる本をご紹介します。

『ゆきのひ』エズラ・ジャック・キース/文・画 きじまはじめ/訳 偕成社《E/か1》

ピーターが目を覚ますと、外には雪が積もっていました。マントを着て外に飛び出したピーターは、雪にいろんな足跡をつけたり、両足をゆっくり引きずって歩いたり。

美しい貼り絵で子どもの世界を描き、1963年のコールドコット賞に選ばれました。雪でいろんな遊び方をするピーターと、一緒に遊びたくなる絵本です。

*コールドコット賞・・・アメリカの児童図書館協会が、その年に出版された最も優れた子ども向け絵本に毎年授与している賞。

『おかしなゆき ふしぎなおおり』片平孝/写真・文 ポプラ社《451》

降り積もった雪や氷は様々な形になります。岩の上に積もった雪は大福みたいにふっくら。郵便ポストに積もった雪はコックさんの帽子のよう。さて、滝が凍るとどんな形？

おはなし会でも好評の、様々な形の雪と氷の写真絵本です。

『熊とにんげん』ライナー・チムニク/作・画 上田真而子/訳 徳間書店《913/チムニ》

旅をするひとりの男がいました。男は踊る熊を一頭連れていたので、人々はただ「熊おじさん」と呼びました。熊おじさんは7つのお手玉が出来る大道芸人。熊の言葉が分かり、心根が優しく、熊と神様が友達でした。昼はひと息に3歩の速さで歩き、夜は熊にお話を聞かせてやり、一つの音しか出ない角笛を静かに吹くのです。

訳者の上田真而子さんに「自分が訳した本の中で一番好き」と言わしめた、旅に人生を捧げた大道芸人と親友の熊の、しみじみと心に残る美しいお話です。大人の方にもおすすめします。